

1. 活動のテーマ

<テーマ>

動き 3歳児
～動的バランスと協応動作の獲得（保持・運搬・歩行調整・姿勢制御）～

<テーマの設定理由>

子どもたちが親しみをもって関わるることができるフルーツのぬいぐるみを中心に据え、「落とさないように運ぶ」「大切に扱う」「体の動きを調整する」といった経験を通して、全身を使った動きを引き出すことを目的として本活動を設定した。フルーツの形や色をした柔らかいぬいぐるみは、子どもにとって安心感があり、「持ちたい」「運びたい」という意欲を自然に引き出す玩具である。そのぬいぐるみをハンカチの上に乗せ、平均台を渡るという遊びに展開することで、手・腕・体幹・足の動きを連動させながら、バランスを取って進む経験につながると考えた。

2. 活動スケジュール

1. 玩具の紹介・導入

- ・フルーツのぬいぐるみを一つひとつ見せながら、「りんご」「みかん」など名前を伝え、触ったり持ったりして親しむ時間を設けた。
- ・ハンカチの上にぬいぐるみに乗せる遊び方を保育者が実際にやって見せ、平均台を渡る様子を示した。

2. フルーツのぬいぐるみを使った活動

- ・子どもたちは自分で選んだフルーツのぬいぐるみをハンカチに乗せ、両手で持ちながら平均台を渡った。
- ・ぬいぐるみを落とさないよう、歩く速さを調整したり、足元をよく見ながら一歩ずつ進む姿が見られた。

3. 活動のふりかえり

- ・活動後、クラス会議および職員会議にて、子どもたちの姿やフルーツのぬいぐるみの活用について振り返りを行った。主に3歳児を中心に12月から3月で活動を展開

3. 探究活動の実践

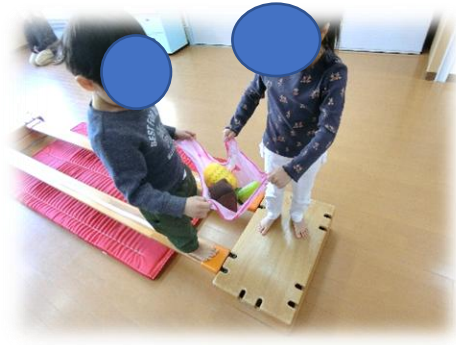
<活動の内容>

準備した素材・環境

フルーツのぬいぐるみ（複数種類） ハンカチ 低めで安定した平均台
転倒時の安全を考慮し、周囲にマットを配置した。

活動中の子どもの姿

- ・フルーツのぬいぐるみを両手で大切に持ち、「落ちないかな」と意識しながら慎重に歩く姿が見られた。
- ・平均台の上では、足を揃えたり、歩幅を小さくしたりと、自分なりに体の使い方を工夫していた。
- ・途中でぬいぐるみが傾くと立ち止まり、姿勢を整えてから再び進む姿もあり、体のバランスを感じ取りながら動いている様子が見られた。
- ・友だちが渡る様子を見て「がんばれ」と応援したり、順番を待つ姿も見られ、遊びを通じた関わりも広がっていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- フルーツのぬいぐるみを使うことで、子どもたちは「大切に運ぶ」という意識をもち、自然と動きを丁寧に調整していた。
- 単に平均台を渡るよりも、ぬいぐるみを乗せることで難易度が上がり、集中力やバランス感覚の育ちにつながっていた。
- 柔らかく安全なフルーツのぬいぐるみは、乳幼児が安心して扱える玩具であり、運動遊びと組み合わせることで活動の幅が広がることを再確認した。
- 今後もフルーツのぬいぐるみを使い、「運ぶ」「並べる」「渡す」などの遊びに発展させていきたい。